＜CAN-DO リスト＞　　平成 29 年 9 月 22 日

	学年	学期	Can-do
読む	1	1	・意味単位で短く区切った英文を正しく音読できる。 ・意味単位で短く区切った英文内容を理解できる。
		2	・身の回りの事柄に関する簡単な英文を音読し、内容を理解できる。 ・50 語程度の英文を意味単位で区切って音読し、内容を理解できる。
		3	・2500 語レベルの単語の意味がわかり、運用できる。 ・段落ごとにやや速く音読し、その内容を理解できる。
	2	1	・意味単位で区切った英文を、語順通りに読んで理解できる。 ・読んだ単文を別な表現で表すことができる。
		2	・文と文のつながりに注意して読んで内容を理解できる。 ・100 語程度の英文を意味単位で区切って音読し、内容が理解できる。
		3	・3500 語レベルの単語の意味がわかり、運用できる。 ・教科書レベルの英文を読んで文全体の構成を理解できる。
	3	1	・段落のつながりを意識して内容を正しく読み取ることができる。 ・段落ごとに、その内容の要点をまとめられる。
		2	・やや難しい英文を読んで文全体の構成を理解できる。 ・やや難しい英文の内容の主題をとらえ要約し、意見を述べられる。
		3	・難しい英文を読んで文全体の構成と内容を理解できる。 ・難しい英文を読んで内容を理解し、意見を述べられる。
書く	1	1	・自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を書くことができる。
		2	・自分の身の回りのことについてまとまりのある文章を書くことができる。
		3	・自分の意見や感想を論理的に整理し段落構成を意識して１０分で８０字程度で書くことができる。
	2	1	・社会的な問題などについて自分の考えを書くことができる。
		2	・意見が分かれる話題について論理的な理由付けを加えて書くことができる。
		3	・効果的な事例を挙げながら自分の考えを客観的に１０分で１００字程度で書くことができる。
	3	1	・複数の段落構成を意識しながら論理的に書くことができる。
		2	・読み手を説得させることを意識して、自分の考えや提案を論理的に書くことができる。
		3	・意見の分かれる話題について、複数の事実関係や意見の相違点を明確にしながら１０分で１５０字程度で書くことができる。

聞く	1	1	・身近な話題について 100wpm レベルの対話やまとまった英文を理解ができる。 ・音声的な知識を用いて、語・句・文のディクテーションができる。
		2	・身近な話題について、110～120wpm レベルの対話やまとまった英文を理解ができる。 ・音声的な知識を使って、語・句・文のディクテーションができる。
		3	・130wpm レベルの対話やまとまった英文を理解することができる。 ・必要に応じて簡単なメモをとりながら聞くことができる。
	2	1	・長めの対話を聞いて、その内容や話者の意図を理解することができる。 ・音声に関する知識や文法等の法則に基づいて、聞き取ることができる。
		2	・長めの英文を聞いて、その内容や意図を理解することができる。 ・音声に関する知識や文法等の法則に基づいて、聞き取ることができる。
		3	・140wpm レベルの対話やまとまった英文を理解することができる。 ・必要に応じて効果的にメモをとりながら聞くことができる。
	3	1	・150～160wpm レベルのまとまった英文を聞いて理解することができる。
		2	・150～160wpm レベルのまとまった英文を聞いて理解することができる。
		3	・150～160wpm レベルのまとまった英文を聞いて理解することができる。
話す	1	1	・身近な話題について、ゆっくりと口頭で表現することができる。 ・質問や聞かれたことに対して、ゆっくりと簡単な表現で応答できる。
		2	・興味関心のあることについて既習の表現を使い相手に分かりやすく表現できる。 ・自らの意見を 50 語程度で書いたものを、原稿を時々見ながら話すことができる。
		3	・身近な話題について、短い準備の後 20 秒程度話し続けることができる。 ・自らの意見を 50 語程度で書いたことを元に、原稿を見ずに話すことができる。
	2	1	・身近な話題について、即時に 20 秒程度話し続けることができる。 ・質問や聞かれたことに対して、簡単な表現で応答することができる。
		2	・時事的話題について、短い準備の後 20 秒程度話し続けることができる。 ・質問や聞かれたことに対して、既習の表現を活用し応答できる。
		3	・イラストを見ながら、その内容を簡単な表現で表現することができる。 ・身近な話題や時事的話題について即時に 20～30 語で意見や感想を述べることができる。
	3	1	・与えられた話題について、時折ジェスチャーなどを取り入れながらも、20 秒程度話し続けることができる。
		2	・与えられた話題について、短い準備の後、序論・本論・結論を踏まえて話し、質問や聞かれたことに対して、適切な応答ができる。
		3	・与えられた話題について、ほとんど準備なく、序論・本論・結論を踏まえて 20 秒以上話し続けることができ質問に対して、適切な応答ができる。